

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.95)

## 1. 環境福祉委員会現地調査について

2月8日、豊田市議会環境福祉委員会の現地調査が委員長始め委員9名全員出席のもと行われました。これは昨年12月豊田処理施設で発生した2件の施設内漏洩事故等に関する現場確認のためです。

当日は、処理棟内の調査であることから、まず安全講習をさせていただくとともに、豊田処理施設の安全設計思想の一つであるセーフティネット(万が一トラブルが発生しても外部への影響を防止する措置である遮蔽フード、防液堤、活性炭吸着槽等の設備)について説明いたしました。その後、事故発生現場である攪拌洗浄エリア等の調査が行われました。

調査後、委員からは、①安全対策や維持・更新に必要な設備投資は十分に行われているのか、②昨年度も環境福祉委員会から意見を出しており、多くの点は改善されているとの報告はもらっているが、今回トラブルは、これと違うところで発生したものか等の質問がありました。

所長から、安全対策のための設備投資は十分に行っていること、12月の事故は工事業者の作業手順や機器・制御の問題であり、一昨年(平成22年)暮れに発生した運転操作の問題ではないこと等を説明しました。

弊社としては処理施設全体の責任を負っていることを改めて認識して、地域の関係者の皆様のご意見等も踏まえ、今後とも、安全かつ早期のPCB廃棄物の処理実施の責任を果たせるよう取り組んでまいります。



施設内現場確認の様子

## 2. 豊田市PCB処理安全監視委員会の開催について

2月7日、豊田産業文化センター4階大会議室において、平成23年度第3回豊田市PCB処理安全監視委員会が開催されました。今回の委員会には、収集運搬事業者も出席し、「ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の収集運搬に関する安全について」を主な議題として話し合いが行われました。



安全監視委員会の様子

豊田市からは、国の示す収集運搬ガイドラインや豊田市と収集運搬事業者が結んでいる協定に基づき、保管場所での積み込みから運搬、処理施設への搬入までの作業が行われている事の説明や収集運搬体制、収集運搬に関連したトラブル事例とその防止に向け作成されたヒヤリハット集の活用状況について説明がありました。

弊社からは、昨年末の施設内での漏洩事故の原因と対策について、及び外部保管倉庫について説明しました。また環境省から現在開催されている「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」の状況についての報告がありました。

委員からは、収集運搬が広域化し長距離運搬となるのでさらなる安全意識が必要、処理施設ではJESCOや運転会社のほか工事業者も含めた連携を強化し事故再発を防止してもらいたい、適正処理に関しては安全を大前提に効率的な処理を検討してほしい等の意見が出されました。

## 3. 少量保管事業者に対する説明会について

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

2月27日に愛知県岡崎市を対象に説明会を実施し、33社の事業者の方々にご出席いただきました。説明会では、平成24年9月～11月の重点搬入期間に向けて、受入までに進めていただく契約諸手続き、事業者間の積合せ(混載)運搬等の説明を行いました。

今後とも計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、少量保管物にも配慮したPCB廃棄物の処理を継続してまいります。



2/27 岡崎市少量保管者説明会

## 4. 安全の日・安全パトロールについて

平成19年2月21日から毎月21日を「安全の日」と定め、過去の事故・トラブルを忘れない、安全を忘れない日として、始業前には集会を、始業後には安全パトロールを行っています。



安全パトロールの様子

丸5年が経過した現在では、過去の事故・トラブルを忘れない、安全を忘れない、更に過去に約束した事項を忘れない日と位置づけ、毎月の始業前の集会では、当事業所で発生したトラブル時の再発防止策として掲げた各項目をひとつひとつ確認して、いっそうの安全意識の高揚を図っています。

また、JESCO及び運転会社の幹部による施設内の安全パトロールを実施しています。今月は、小型トランス及び大型トランス解体エリアについてパトロールを行いました。

指摘された事項については速やかに改善を行い、危険要因の排除、事故等の未然防止を図っています。

## 5. 安全セミナー開催について

豊田施設では、1年かけてJESCO、運転会社（豊田環境サービス）の全社員を対象として、豊田事業所再生計画に基づく安全セミナー（設計思想等の再教育）を実施しています。2月度は、第25回「緊急時対応について その2 緊急時対応マニュアル」、第26回「PCBオンライン分析計について」をテーマにして安全セミナーを開催しました。

「緊急時対応マニュアル」については、豊田事業所において緊急異常事態が発生した場合に、事業所としてとるべき措置を決めたもので、総合的な防災活動の円滑な推進を図り、火災、危険物の流出、震災等での災害の発生及び拡大を防止する目的で作られており、緊急時の連絡体制や自衛消防組織の任務等、改めて確認致しました。

また「PCBオンライン分析計について」では、PCBオンラインモニタリング設備の目的、概要やその機能、測定場所等の説明がありました。今後もPCBガスを外部へ排出させないため、排気ラインのPCB濃度の常時監視を続けていきます。



第25回安全セミナーの様子

## 6. 防災訓練について

平成24年2月13日、総合防災訓練を実施致しました。処理棟4F、分析待室の素子カゴ内の素子が燦り、発火、火災発生したとの想定で、①初期消火訓練 ②通報訓練 ③連帯活動訓練 ④避難・誘導訓練 ⑤現場指揮訓練等を行いました。今回は、豊田市消防本部予防課より3名にご来所いただき、訓練や自衛消防組織を視察、ご指導いただきました。

地震や火災等の災害を防ぐためには、防災活動の要となる自衛消防組織を設置して、訓練を重ねておくことが大切と考えています。今後もいざという時に備えて、緊急通報連絡訓練1回、地震訓練1回、総合防災訓練2回と計年4回の緊急時訓練を実施していきます。



豊田市消防本部予防課による講評

### 問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社（JESCO） 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>